

I ウクライナ概観

大陸性気候 平均気温北部 北東部 1月 -7~-8 列ノ南部 2~-4
北西部 7月 18~19 南東部 23~24

平坦地 最高峰 Говерла(2061m)、河川数 131 ドニプロ 2200km (信濃川 367 km)
hoverla 大半の河川がアゾフ海、黒海に注ぐ

面積 60.4 万 km² ヨーロッパ最大 (?) (フランス 54.7, スペイン 50.5, スウェーデン 45, 日本 37.8)

行政区画 25 州

宗教

歴史 別紙⇒ 地政学的優位性 (ロシアの南下政策には必須の地) + 豊饒の大地にすむ民の非劇、亡国 (生贄のウクライナ) の民の過去の栄光・東スラヴの盟主としての矜持、コサックの末裔の誇り、心の支え母語ウクライナ語への焼けつく思い ∴ 話せなくとも母語はウクライナ語

II ウクライナ語

1. 系統 インド・ヨーロッパ語族 Proto-Indo-European スラヴ語派東スラヴグループの一つ
BC 3000 BC 2000 年紀初め BC 1000 年紀後半 AD 5c~6c
印欧祖語崩壊 → スラヴ祖語分離 → スラヴ祖語崩壊 → 方言的分化顕著

スラヴ語派

東スラヴ語—ウクライナ語、ロシア語、ベラルーシ語

スラヴ祖語—西スラヴ語—ポーランド語、カシューヴ語、チェク語、スロヴァキ語、低地ソルブ語、高地ソルブ語

南スラヴ語—スロヴェニア語、セルビア・クロアチア語、マケドニア語、ブルガリア語

主な使用地域 ウクライナ (正式名称) における公用語・教育言語

他の言語 露語、白露語、波語、チェコ語、ロマ語など

使用文字 キリール文字

2. 標準語、方言区分 北ウクライナ方言、東ウクライナ方言、西ウクライナ方言
標準語— 東ウクライナ方言を基に各地の要素を加味して形成
現状— 中央で定めた基準に各地域のことは統一・標準化する過程にある。

3. 人口、宇語話者人口 スラヴ語第二 (三) 位

1989 年 総人口 5170 万人 宇人 3740 万人 (72.3~72.7%) 露人 1140 万人 (22%)

2001 年 総人口 4846 万人 宇人 3770 万人 (77.8%) 露人 824 万人 (17%)

宇人の 12.2% が露語を母語、露人の 34.4% が宇語を準母語 (1989 年) → 本国では話者人口約 3680 万人、その他、ロシア連邦 (436 万人)、カザフスタン、ポーランド、カナダや米国などの南北アメリカ、豪州の話者合計は 4000 万人以上。

4. 言語の歴史

// //内はロシア語の場合

スラヴ祖語 (スラヴ諸語の共通の先祖) から分かれた古期ルーシ語は、8~14 世紀の間に統一性を失い、現代のウクライナ語、ロシア語、ベラルーシ語と分かれていった。ウクライナ語の特徴は 12 世紀頃までには形成されていたが、その後、近隣諸国に支配され、世界史上例を見ないほど頻繁にウクライナ語使用禁止令がしかれた。そのため言語の直線的な発達には阻害された。このような禁令にもかかわらず、母語による創作活動を続けた I. コトリャレウシキー (1769-1838) や T. シェウチェンコ (1814-1861)、P. クリシ (1819-1897) の作品および思想 // プーシキン (1799~1837) らの作家 // が、民衆の話し言葉を核として、教会スラヴ語 (スラヴ世界初の文語である古代教会スラヴ語が東スラヴ語の特徴を取り入れたもの) の要素を取りこみ彫琢したのが現代ウクライナ語の基礎である。使用禁止令が部分的に解除されたのは 1905 年、完全かつ実質的に解かれたのは 1991 年の独立の時である。⇒ 定説 (ソ連説) とウクライナの研究者の見解。

5. 言語をめぐる状況

長期にわたる異国の支配、とくにロシアの約350年にわたる支配の下で執拗に使用禁止令がだされた結果、ウクライナ語はおもに心ある知識階級の一部と地方、農村部で話される言語となっていた。ソ連邦時代には1920年代の一時期を除くと、ウクライナ語の使用は反革命的行為とみなされて、社会生活上著しい不利益を被り、公には使用が困難であった。ようやく1991年の独立後、ウクライナの公用語とされ、現地では「失われた時を求めて」積極的にウクライナ語の教育が行われている。

このような歴史から、かつてはロシア語しか話せない人が存在し、またウクライナ語とロシア語が併用された結果、両言語の要素を混在させたことば(суржик)が用いられることもある。とくにロシアの影響の残る東部を中心にロシア語を第二公用語とすべきという意見もある。なお、ロシア語などの少数民族集団の言語も憲法でその育成、使用が保証されている。

⇒匿名のウクライナー ウクライナのはロシアのフィルターを通してでないと思認されない。

地名・人名はロシア語読み: 首都キエフ(字語では クィーウ)。ボルシチは本来はウクライナ料理

Cf. 東京の読みはトンキン? 寿司はロシア料理?

6. 文字と音声

6.1. 文字 字語 українська абетка (алфавіт)

露語 русский алфавит (кириллица)

1	Аа	a	18	Нн	n	1	Аа	a	18	Рр	r
2	Бб	b	19	Оо	o	2	Бб	b	19	Сс	s
3	Вв	v	20	Пп	p	3	Вв	v	20	Тт	t
4	Гг	h	21	Рр	r	4	Гг	g	21	Уу	u
5	Ґґ	g	22	Сс	s	5	Дд	d	22	Фф	f
6	Дд	d	23	Тт	t	6	Ее	je	23	Хх	x(kh)
7	Ее	e	24	Уу	u	7	Ёё	jo	24	Цц	c(ts)
8	Єє	je	25	Фф	f	8	Жж	ž(zh)	25	Чч	č(ch)
9	Жж	ž(zh)	26	Хх	x(kh)	9	Зз	z	26	Шш	š(sh)
10	Зз	z	27	Цц	c(ts)	10	Ии	i	27	Щщ	šč(shch)
11	Ии	y	28	Чч	č(ch)	11	Йй	j	28	Ъъ	
12	Іі	i	29	Шш	š(sh)	12	Кк	k	29	Ыы	y
13	Її	ji(i)	30	Щщ	šč(shch)	13	Лл	l	30	Ьь	'
14	Йй	j	31	Ьь	'	14	Мм	m	31	Ээ	e
15	Кк	k	32	Юю	ju(iu)	15	Нн	n	32	Юю	ju(iu)
16	Лл	l	33	Яя	ja(ia)	16	Оо	o	33	Яя	ja(ia)
17	Мм	m		'	"	17	Пп	p			

ラテン文字への翻字法

⇒近親憎悪— 誤った字語を正しい露語として学ぶ

字語	можно	いいです	露語	можно	いいです
	モージュナ			モージュナ	
	не можна	だめです		нельзя	だめです
	ネモージュナ			ニリジャー	

6.2. 音声

1. 母音 a, o, u, e, y, i

6つの母音。母音の長短は意味の区別をしない。

2. 子音 b, p, v, m, f, d/d', t/t', z/z', s/s', c/c', dz/dz', ž, š, č, dž, l/l', r/r', n/n', j, g, k, x, h

32の子音。

上の /l/ は、/j/ や母音の /i/ のように舌の中央部を硬口蓋に近づけて発音することを表す。このような音を習慣的に軟音、それ以外の音を硬音といって峻別する。語義や名詞類の変化型の区別に役立つからである。

6.2.2 語のアクセント

アクセントはストレスアクセントであり、語義の区別に関与する。単語ごとに決まった位置にある。アクセントのある音節の母音はない場合よりも強く、はっきり、やや長めに発音される //ロシア語ほどの長さの差は大きくない: прошу どうぞ прошу 頼みます
ブローシュ プロシュ

6.2.3. 同化 有声子音(下線部)は語末、無声子音の直前でも無声化せず //露語、波語は同化する//:

字 сніг // 露 снег 波 śnieg — 雪、 字 солодкий // 露 сладкий 波 śłodki — 甘い
 シニエグ シニエーク シニエク ソロードクィ スラートキー スウォトキ
 例外 若干の語中のみ [r] + 無声子音は無声化、 無声子音 + 有声子音は有声化
 легкий 簡単な екзамен 試験 боротьба 闘い
 レフクイー エグザーメン ボロヂバー

6.2.4. 音索性

子音および母音の連続を回避する傾向

1. 原則的に子音連続はない: 字 профессор // 露 профессор 波 profesor — 教授

профессор профессор

例外 接辞と語幹の場合のみ可能: годинник 時計

годи́нник

2. Вの発音 環境によって[u] [w] [v]の3通りの発音になる。

- 1) [u] 語頭/音節の初めの В+子音 вдо́ма 家で вранці 朝に
 ウドーマ ウランツィ
 2) [w] 母音+В+子音/母音+ Шевче́нко シェウチエンコ був いた Київ キエフ
 語末/音節末の В シェウチエンコ ブーウ クィーウ
 3) [v] その他 вона 彼女 мо́ва 言語 сло́во 語
 ヴォナー モーヴァ スローヴォ

3. 1) iは母音の直後では й と交替する。 він іде, вона йде. 彼が行き、彼女が行く。

ві́н іде́, во́на йде́

- 2) з (英語の with にあたる前置詞) は、子音の間、後、子音で始まる語の前では из となる。

з

из

※3.のような例はほかにもあるが割愛。

7. 言語の構造

- 7.1. 名詞類(名詞、数詞、形容詞)、代名詞には、性(男性、女性、中性)、数(単数、複数)、格(主格、対格、属格、所格、与格、具格、呼格)や人・動物/物・ことの区別がある。

性一語尾の形で区別する。ただし、人・動物・の幼児・仔は中性になるなど例外的なものもある。

7.2. 格	батько	університет	мама	слова́
主格	батько	університет	мама	слово́
対格	батька	університет	маму	слово́
属格	батька	університету	мами	слова́
所格	на батькові/у	в університеті	на мамі	слові́
与格	батькові/у	університету/ові	мамі	слову́
具格	батьком	університетом	мамою	словом
呼格	батьку	—	мамо	
	父	大学	ママ	単語

- 7.3. 形容詞一つながる名詞により男性形、中性形、女性形、複数形(どの性でも同じ形)の形になる。
 硬変化型と軟変化型に分類される。

硬変化型					軟変化型				
男性形、中性形、女性形、複数形					男性形、中性形、女性形、複数形				
новий	нове	нова	нові	新しい	синій	синє	синя	сині	紺色の
ノヴィー	ノヴェー	ノヴァー	ノヴィ		スィーニ	スィーニエ	スィーニャ	スィーニ	

7.4. 動詞

相 — 一つの動作を表すのに、動作をどう見るかにより二つの動詞形が用いられ、役割分担する。
 ある目的に向かって動作が展開・発展するという見通し・展望を持つ場合には、完了相という形が用いられ、一方、そのような見通しを持たない場合は不完了相という形が用いられる。

例 日本語の動詞「読む」には不完了相 читати 完了相 прочитати が対応。

チターティ

プロチターティ

時制—過去形(まれに大過去形)、現在形、未来形、法—直説法、命令法、仮定法により変化する。
進行形という形はない。

1. 現在形—主語の人称と数で6つの形に変化する。

			不完了相	完了相
	不定詞		читати	прочитати
単	1 人称	я	читаю	прочитаю
	2 人称	ти	читаєш	прочитаєш
数	3 人称	він	читає	прочитає
複	1 人称	ми	читаємо	прочитаємо
	2 人称	ви	читаєте	прочитаєте
数	3 人称	вони	читають	прочитають

2. 未来形—主語の人称と数で6つの形に変化する。

			不完了相			完了相
単	1 人称	я	читатиму	буду	читати	完了相は現在形が、そのまま未来を意味するので、未来形なし 参考「読んでしまう」
	2 人称	ти	читатимеш	будеш	читати	
数	3 人称	він	читатиме	буде	читати	
複	1 人称	ми	читатимемо	будемо	читати	
	2 人称	ви	читатимете	будете	читати	
数	3 人称	вони	читатимуть	будуть	читати	
			総合未来形	合成未来形		

不完了相の動詞にのみ未来形がある。未来形には、助動詞の変化形＋不完了相不定詞という合成未来形と不完了相の不定詞＋-му、-меш、-ме、-мемо、-мете、-муть という総合未来形がある。総合未来形のほうが好まれる。

3. 過去形—主語の性と数で4つの形に変化する。

			不完了相	完了相
単	男性	він	читав	прочитав
	女性	вона	читала	прочитала
数	中性	воно	читало	прочитало
複	3 性とも	вони	читали	прочитали

大過去形—動詞の過去形＋助動詞の過去形という大過去形が用いられることがある。

він ходив був 彼は通った вона ходила була 彼女は通った
ヴィーン ホディーウ ブーウ ヴォナーホディーラ ブラー

8. 統語構造

8.1. 句内の語順

修飾語—被修飾語 被修飾語—修飾語がふつうの語順 новий рік 新年
ノヴィー リーク

数量を表す語 - 名詞がふつうの語順で、名詞—個数詞の語順は概数を表す。

чотири гривні 4 グリブニャ
チョティールイ フリーウニ

8.2. 文型

文の基本構造は意味・論理的には主部＋述部といえる。ただし、形の上では、語と文との区別のない名辞文やまた非人称文、普遍人称文、不定人称文などという字面に主語が現れない文型もある。

文の種類	主部	否定辞	述部	日本語訳
------	----	-----	----	------

人称文	Я	(не)	японець. японка.	(男性の場合) 私は日本人です (ではありません) (女性の場合)
名辞文	Ранок.			朝だ。
非人称文	なし	(Не)	Холодно.	寒い (寒くない)。
普遍人称文	なし		Вік живи, вік учись.	生きている限り学ぶもの (諺) - 普遍的に誰にも当てはまる動作を表す表現
不定人称文	なし		Розмову продовжують.	話が続けられる - (行為者に注意を向けず、どのような動作が行われるかだけを表す表現)

8.3. 統語構造 英語に比べ非人称文が多用されるのが特徴。

非人称受動構文 (述語が to / no に終る) - 標準ロシア語にはなく、ポーランド語にはある。

他動詞の不定詞語幹 + to / no

написати - написано ⇨ 受動分詞過去中性形

女単対 過中単 受分過中 副 副

女単主 受分過女単 副 副

Повість було написано вже давно.

// Повесть написана уже давно //

ポーヴィスチ ブロー ナプィサノ ウジェ- ダウノ-

ポーヴィスチ ナピーサナ ウジェ- ダヴノー

Story was written already long ago

8.3. 言語の特徴

1. 母音連続や子音連続を避ける傾向がみられるなど音声的に繊細な言語である。
2. 名詞類 (名詞、数詞、形容詞) が格変化 (主格、対格、属格、所格、与格、具格、呼格) すること、動詞が完了相、不完了相という相 (一般言語学的にはアスペクト) で二分され、相が時制 (過去時制、現在時制、未来時制) の機能に優先することが特徴である。
3. 東スラヴ語に属し、西スラヴ語のポーランド語の影響を受けており、東西スラヴ語の特徴、いわば二重性を持つ。∴ 語および変化形のバリエーションが豊富。⇒ ウクライナ人は外国語学習が相対的に「容易」

спасибі дякую — 有難う

スパシービ チャークユ

4. 所有形式、疑問の助詞の位置などがいわゆる「西欧」的でアジア的な露語との架け橋となる:

Я маю / У мене є альбом. 私はアルバムを持っている。// У мене є альбом.のみ

ヤ マーコ / ウメーネ イエ アリボーム

ウミニャ イエースチ アリボーム

9. 参考文献抜粋

書名	著者	出版社	出版年	レベル
I 学習書				
ニューエクスプレス ウクライナ語	中澤英彦	白水社	2009	入門初級
Ukrainian phrasebook	Bekh, Olena 他	Lonely Planet Publications	1997	入門初級
Colloquial Ukrainian	Press, I. 他	Routledge	1994	入門初級
ウクライナ語入門	中井和夫	大学書林	1991	入門初級
Modern Ukrainian	Humesky A.	The Canadian Institute of Ukrainian Studies Press	1980	入門中級
II 辞典・語彙集類				
ウクライナ語のための日本語学習辞典	ボンダレンコ I., 日野貴夫 他	アリテルナティーヴィ	1998	入門中級
現代ウクライナ語語彙集	ウクライナ言語・文化研究会編	東京外国語大学語学教育研究協議会	1997	入門初級
Російсько-Український / Українсько-російський словник. 8-ме видання	Ганич Д.И. 他	A.C.K.	2000	中級上級
Українсько-російський словник 7-е видання	Їжакевич Г.П. 他	Наукова думка	2000	中級上級
Англо-Український словник / Українсько-Англійський	Биховець Н.М. 他	Академія	1997	入門中級
Українсько-Англійський Словник	Andrusyshen C.H. 他	University of Toronto Press	1957	中級上級

覚えたい単語

	ウクライナ語	ロシア語	ポーランド語
はい	Так ターク	Да	Tak タク
いいえ	Ні. ニー	Нет	Nie ニエ
こんにちは	Добрий день! ドブリー デーニ	Добрый день!	Dzień dobry! チェニ ドブリー
どうぞ、どうか、 どう致しまして	Будь ласка. ブッチ ラスカ /Прощу. プロシュ	пожалуйста	proszę プロシェ (ン)
これ、あれ、それ	Це ツェー	это	to ト
これは何ですか	Що це? シチョーツェ	Что это?	Co to (jest)? ツォト(イエスト)
それは鍵です	Це ключ. ツェ クリューチ	Это ключ.	To (jest) klucz. ト イエスト クルチ
それは鍵ではありません	Це не ключ. ツェ ネクリューチ	Это не ключ.	To nie klucz. ト ニエクルチ
ありがとう。	Дякую. チャークユ	Спасибо	Dziękuję チェンクイェン
すみません	Пробачте. プロバーチテ	Простите.	przepraszam プシェブラシャム
ありません、いません。	Немає ネマーイエ	Нет.	nie ma ニエマ
すべて。終わり。	Усе. ウセー	Всё	wszystko フシストコ
さようなら	До побачення! ドボバーチェニヤ	До свидания	Do widzenia panu(i)! ドヴィジェニヤ パヌ (イ)

ЗАПОВІТ

Тарас Григорович Шевченко (1814-1861)

Як умру, то поховайте
Мене на могилі,
Серед степу широкого,
На Вкраїні милій,
Щоб лани широкополі.
І Дніпро, і кручі
Було видно, було чути,
Як реве ревучий.

Все покину і полину
До самого бога
Молитися... А до того
Я не знаю бога.

Поховайте та вставайте,
Кайдани порвіте
І вражою злою кров'ю
Волю окропіте.

Як понесе з України
У синєє море
Кров ворожу... отойді я
І лани, і гори

І мене в сім'ї великій,
В сім'ї вольній, новій,
Не забудьте пом'янути
Незлим, тихим словом.

私が死んだら
なつかしいウクライナの
広いステップのただ中の墓に
葬ってくれ
広々とした畑が、ドニプロが、
崖が見えるように
ドニプロの轟きが聞こえるように

私を葬ったら立ち上がれ
鎖を断ち切れ
敵の悪しき血を以て
自由を洗礼してくれ

ドニプロがウクライナから青い海へ
敵の血潮を流す時
その時、私は
畑も山も全て捨てて
神の御元へ飛び立とう
そして祈ろう...だがそれまでは
私は神を知らないはまだ

そして忘れないでくれ
大いなる家族 新しい自由な家族のなかで
私のことを
静かな良き言葉で
想うことを

貞包和寛訳による

<http://www.youtube.com/watch?v=3DIbiPw2P14&feature=related>
<http://www.youtube.com/watch?v=XidW6r2aFo4&feature=related>

時代と背景	ドニエプル右岸	ドニエプル左岸, 莫
862年キエフ・ルーシ時代 (930-1036)ドニエプル時代 (1036-1169)ボルガ時代	教会スラヴ語 古期ルーシ語 ウラジーミル聖公 (?-1015) — 版図ヨーロッパ最大 989(8)年 キリスト教国教化	
12世紀	古期ルーシ語分化—12c 統一性失う	
13-14世紀 分領時代 モンゴルの侵入 1240年 貴府壊滅	ガリツィア・ヴォルィニ公国 (1199-1340→理波に併合) 現宇の9割の地域支配	ドニエプル中流, 左岸に人口移動 A.Невский(1252-63)
1385年 クレヴォの合同 波・理の合同 第1次宇分割 1569年 ルブリンの合同 理公国・波王国と連合 1596年 プレストの合同	ガリツィア→波 ヴォルィニ他→理 Euthimios 版 Ruth ルトウ語 教会スラヴ語 ベラルーシ語的 裁判, 公文書 要素↓ →プロス =ラテン語 タ・モヴァ化 ガリツィア, ポドリエ, 16c 農奴急増 貴府, ヴォルィニ→波 波 コサック ユニエイト誕生 ク利用	15c 莫中心に北東露再 統一の動き活発 15c コサック出現
1632年 貴府モヒラ アカデミー創立	ザポロージェコサックの指導者 P.サハイダーチヌイ(-1622) 貴府再建に着手 再度宇文化の中心地に	
1654年 ペレヤスラフ協定	ボフダン・フメリニツキー, 東宇を拠点に対波蜂起, 独立運動(1648-), 新興の莫と組む, 対等/隷属 →属国化	
1667年アンドルソヴォ (波と莫) 講和 第2次宇分割 1686年 波・莫恒久平和	ドニエプル右岸→波, ハイダマキ運動 波の要請 莫軍出動 (1734, 1750, 1756年)	左岸(含む貴府)→莫, 莫の 自治国ヘトマン国家 自治権制限強化
1702年 1709年 ポルタヴァの戦い	1700年 波, コサック廃止 / ピョートル大帝 宇語書物の印刷・ スウェーデン軍 (カール 12 世)・マゼパ敗北 出版の禁止	
1772年 第1次波分割 1783年 エカテリーナ二世	ガリツィア→奥 その他→露 の一部 教会スラヴ語→露語 (上流階級口語) 地方行政, 世俗言語= プロスタ・モヴァ	左岸 ヘトマン国家廃止, 直轄諸県に分割, 農奴制⇄小露
1793年 第2次波分割	右岸 (除ポーレーシャ) の大半→露 ガリツィア → 奥・ハンガリー帝国	
1795年 第3次波分割	西北部 (ポーレーシャ, ポドーリア, 18-19c 宇ルネサンス ヴォルィニ) 理 → 露 1798年 宇初の文学作品 Котляревський	
1846(45-47)年	キリル・メトディウス団結成	
1863年	露内相 P.ヴァルエフの禁 教科書, 初級読本類禁止	
1876(5)年 エムス勅令	宇語文化活動の中心, ガリツィア (奥支配) に移動	
1881年	宇語劇上演禁止 露語正書法(ярижка)のみ許可	
1905年	露帝国アカデミー, 宇語を独立の言語と認定	
1917年 ロシア革命 1918年	11月 宇国民共和国宣言, 英仏承認 12月 宇ソヴィエト共和国 宇科学アカデミー創立 1月 中央ラーダ, 宇の完全独立を宣言 11月 西宇国民共和国成立 12月 貴府, 宇国民共和国復活	
1919年	1月 東西宇共和国合併 8月 サンジェルマン条約	
1922年	宇ソビエト社会主義共和国成立	
1927年	ハリコフにおける正書法会議 28年 農業集団化	
1930年代 非宇化	32-33年 飢饉 中期 吟遊詩人虐殺 39年3月15日 カルパト・宇独立宣言	
1945年2月 ヤルタ会談	41年6月 ドイツ占領下リヴィウで独立宣言, 東ガリツィア→ソ連・宇	
1989年10月28日	宇言語法制定, 91年1月施行 公用語化	
1991年8月24日	宇最高会議独立宣言, 12月8日ソ連邦解体	
2004年12月	オレンジ革命 Помаранчева революція 三代 Віктор Андрійович Ющенко	
2010年2月25日	四代大統領 Віктор Федорович Янукович	

表記は露語式 略記号の意味 (斜字体のみ 中澤考案) 宇=ウクライナ 奥=オーストリア 波=ポーランド 理=リトアニア

貴府=キエフ 莫=モスクワ 一波, ポーランドの支配・勢力下に入ること 年号の下線は説明の下線部分の年号と対応